

輸出事業計画

※申請者名：株式会社グンケイ、品目：鶏卵

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・日本の鶏卵消費は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、業務用需要は一時的に落ち込んでいるものの、内食需要の高まりによって家庭需要は引続き堅調に推移しています。又、消費者の安全志向が高まりを見せる中、鶏卵においては鳥インフルエンザの発生もあって一層の品質管理及び衛生管理が求められています。一方で、近年、業界全体の生産拡大により年々生産量は増加傾向にあり、国内における販売競争は激化している状況です。又、現状生産の96～97%が国内で消費されており、人口減少が進む日本において消費も中長期的にみると減少傾向となることを見込まれます。
- ・弊社は昭和30年の創業以降、北関東を中心とする生産者の新鮮な鶏卵を、特長を活かしつつ分かりやすく消費者に訴求できる商品展開を行い、生産者と消費者を繋ぐ位置付けを長年、担ってきました。
- ・日本産の鶏卵は海外で高く評価され、輸出実績も年々増加傾向にあることから、今後さらに需要の拡大が見込まれる海外市場をターゲットとし、2022年1月の香港への輸出を皮切りに取組を展開することとしました。

【課題】

○生産・流通面

- ・製造施設及び機器の体制整備
(輸出先国の規制等への対応や輸出先国が個別に定める施設認定の取得のため)
- ・人手不足

○販売面

- ・緊急時の製造体制の構築（鳥インフルエンザ発生時等）
- ・マーケットニーズの把握

○加工面

- ・輸出先国が個別に定める施設認定の取得

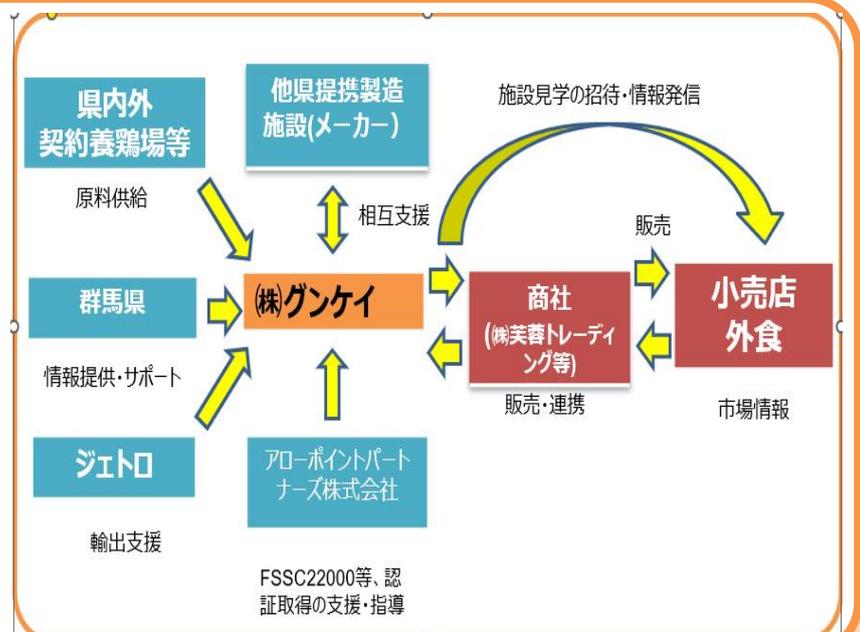
2. 輸出事業計画の取組内容

○生産・流通・加工面

- ・ターゲット国の定める各種規制や施設認定の要件をほぼ満たすことができる食品安全マネジメントシステムの国際基準であるFSSC22000認証取得に向け、それに対応できる施設の新設及び機器の導入・整備

○販売面

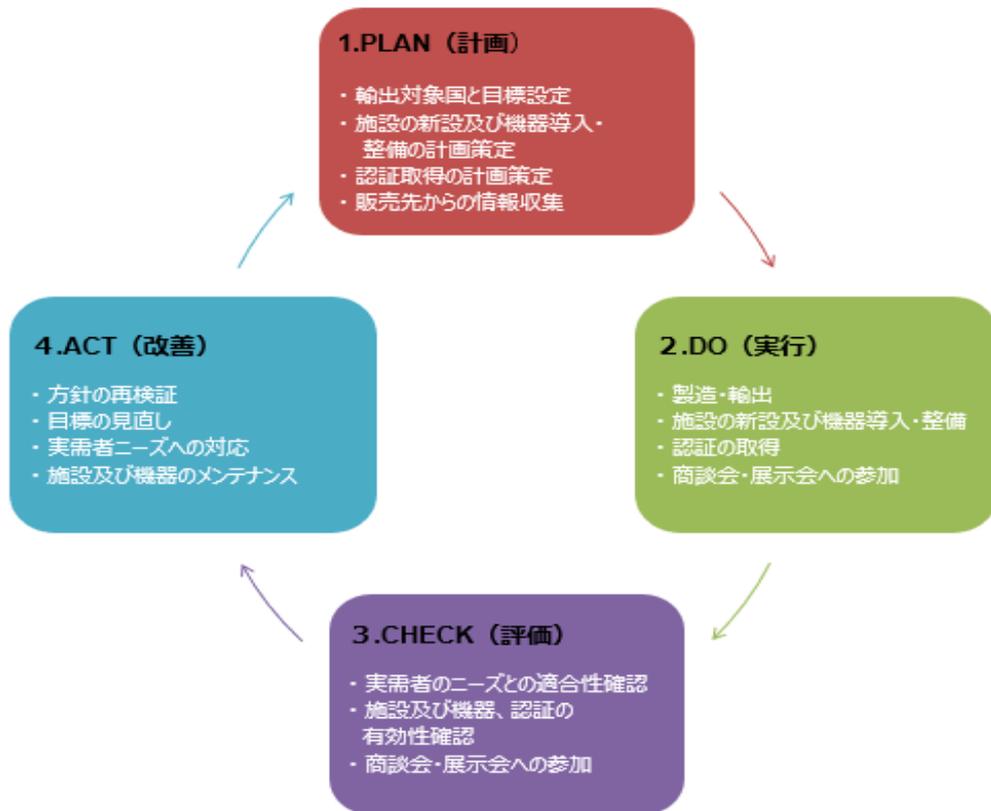
- ・提携製造施設及び契約養鶏場との関係構築・相互連携
- ・商談会及び展示会への参加
- ・海外バイヤー等の招聘



輸出事業計画

※申請者名：株式会社グンケイ、品目：鶏卵

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

| 輸出品目：殻付き鶏卵 | | 現状 (令和3年度) | 目標 (令和8年度) | 備考 |
|--------------------|---------|---------------|---------------|----|
| 中毛エリア | 輸出額 (円) | 2,433,600 | 75,816,000 | |
| | 輸出量 (t) | 12.0 | 373.8 | |
| | 輸出先国 | 香港 | 香港、シンガポール、米国 | |
| | 生産量 (t) | 8,030 | 16,060 | |
| 輸出品目：加工卵 (半熟卵、ゆで卵) | | 現状 (令和3年度) | 目標 (令和8年度) | 備考 |
| 中毛エリア | 輸出額 (円) | 0 | 8,128,000 | |
| | 輸出量 (t) | 0 | 21.1 | |
| | 輸出先国 | - | 香港、シンガポール | |
| | 生産量 (t) | 803 | 3,116 | |